

令和 5 年 12 月 14 日

原子力規制庁

新基準適合性審査チーム長殿

GNS 本社社員兼 GNS ジャパン最高技術責任者

トビアス フィシャワゼルス

件名：審査対応の改善について

現在進行中の GNS 社製兼用キャスク CASTOR® geo26JP の型式証明申請審査において、書面による審査の対応に遅れが生じています。これは原子力規制庁殿及び GNS 双方にとって、好ましい状況ではありません。このような状況を改善するため、これまで web 会議にドイツ本社の社員が参加するヒアリング対応を試行して参りましたが、この度、審査対応改善を目指し、GNS はドイツ本社の社員に加え、日本での現地社員を増員いたしました（参考資料）。

新社員は、それぞれが原子力や機械工学の専門家ではありますが、許認可申請やそれに伴う書類作成等に必要・十分な知見・研修を積む必要があります。すなわち、来年 1 月末頃までに、数回のヒアリングにて自ら説明する経験が必要と考えています。

御庁には引き続きご迷惑をおかけしてしまいますが、弊社としましては現行の書面による審査対応を改善していく所存です。その結果、審査方法を通常の対面での審査方法に移行する提案の判断を来年 2 月ころにさせていただきたく存じます。

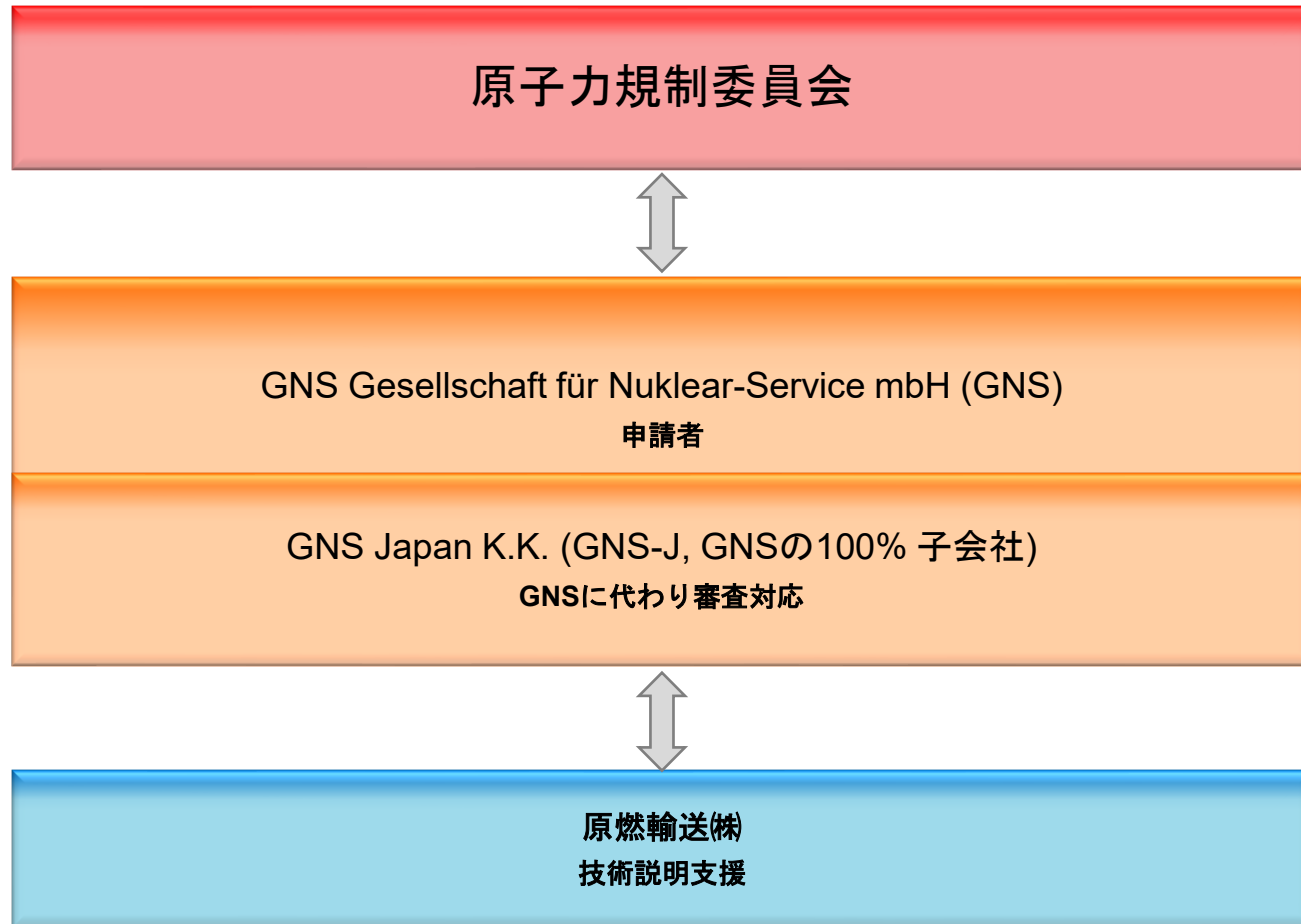
以上

CASTOR[®] geo26JP 型式承認申請に係る体制について

GNS Japan

2023.12.14

3. CASTOR® geo26JP 型式承認申請に係る体制(見直し前)2023.10



原子力規制委員会



GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH (略 GNS)

➤ GNS: CASTOR® geo26JP型の申請者

GNS Japan K.K. (略 GNS-J, GNSの100% 子会社)

➤ GNSに代わり審査対応

- プロジェクト・許認可マネージャー
- 許認可エンジニア5名



原燃輸送(株)

➤ 技術説明支援